

科目	生物 (Biology)		
担当教員	津田 久美子		
対象学年等	機械工学科・3年D組・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	工学複合プログラム		JABEE基準1(1)
授業の概要と方針	生物学の基礎を形態学・発生生物学・生化学・分子生物学的視点で講義する。細胞・生殖と発生・生物体のエネルギー獲得機能について学習する。なお、随時現代社会における生物科学技術の応用例、生命科学に課せられた問題点について解説する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	細胞の構造と細胞小器官の機能を理解できる。		細胞の構造と細胞小器官の機能を理解できているか、中間試験および実験レポートで評価する。
2	細胞の増殖の方法と生物体の構造の多様性を理解できる。		細胞の増殖の方法と生物体の構造の多様性を理解できているか、中間試験で評価する。
3	生殖細胞の形成過程と受精のしくみを理解できる。		生殖細胞の形成過程と受精のしくみを理解できているか、定期試験で評価する。
4	エネルギー代謝の概念と異化の過程を理解できる。		エネルギー代謝の概念と異化の過程を理解できているか、定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験60%、レポート30%、小テスト10%として評価する。2回の試験成績の平均点を60%、授業中に随時実施する小テストを10%、実験レポートを30%で総合評価する。100点満点で55点以上を合格とする。		
テキスト	資料プリントを随時配布する。		
参考書	授業で随時紹介する。		
関連科目	特になし。		
履修上の注意事項	特になし。		

